

決算特別委員会 会議録

開 会 日	平成 29 年 9 月 8 日 (金) 午前 10 時 00 分～午後 6 時 07 分																																																																												
	平成 29 年 9 月 11 日 (月) 午前 10 時 00 分～午後 8 時 26 分																																																																												
閉 会 日	平成 29 年 9 月 12 日 (火) 午前 10 時 00 分～午前 10 時 52 分																																																																												
場 所	長久手市役所西庁舎 2階 第7・8会議室																																																																												
出席委員	委員長 佐野尚人 副委員長 ささせ順子 委 員 大島令子 岡崎つよし 川合保生 さとうゆみ 山田かずひこ 吉田ひでき																																																																												
欠席委員	なし																																																																												
欠 員	なし																																																																												
会議事件のため出席した者の職氏名	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">市長</td> <td style="width: 25%;">吉田一平</td> <td style="width: 25%;">副市長</td> <td style="width: 25%;">鈴木孝美</td> </tr> <tr> <td>総務部長</td> <td>青山 均</td> <td>同次長兼財政課長</td> <td>浦川 正</td> </tr> <tr> <td>税務課長</td> <td>近藤泰介</td> <td>課長補佐</td> <td>正林正己</td> </tr> <tr> <td>市民税係長</td> <td>神藤貴司</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>収納課長</td> <td>高木昭信</td> <td>主幹</td> <td>水野 悟</td> </tr> <tr> <td>課長補佐</td> <td>山本郁子</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政課長</td> <td>飯島 淳</td> <td>課長補佐</td> <td>児玉 剛</td> </tr> <tr> <td>庶務係長</td> <td>木全麻規子</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財政課課長補佐 (財政担当)</td> <td>嵯峨 剛</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>課長補佐 (管財担当)</td> <td>水草 純</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民課長</td> <td>斉場三枝</td> <td>市民係長</td> <td>村瀬裕圭</td> </tr> <tr> <td>くらし文化部長</td> <td>加藤正純</td> <td>相談監</td> <td>浅井雅代</td> </tr> <tr> <td>くらし文化部次長</td> <td>川本保則</td> <td>たつせがある課長</td> <td>川本満男</td> </tr> <tr> <td>課長補佐 (地域協働担当)</td> <td>遠藤健一</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域協働係長</td> <td>堤 健二</td> <td>交流推進係長</td> <td>水野香織</td> </tr> <tr> <td>悩みごと相談室長</td> <td>近藤かおり</td> <td>室長補佐</td> <td>粕谷庸介</td> </tr> <tr> <td>安心安全課長</td> <td>水野徳泰</td> <td>課長補佐</td> <td>山際裕行</td> </tr> <tr> <td>防災官</td> <td>栗寄穂積</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>環境課長</td> <td>富田俊晴</td> <td>主幹</td> <td>水野正志</td> </tr> </table>	市長	吉田一平	副市長	鈴木孝美	総務部長	青山 均	同次長兼財政課長	浦川 正	税務課長	近藤泰介	課長補佐	正林正己	市民税係長	神藤貴司			収納課長	高木昭信	主幹	水野 悟	課長補佐	山本郁子			行政課長	飯島 淳	課長補佐	児玉 剛	庶務係長	木全麻規子			財政課課長補佐 (財政担当)	嵯峨 剛			課長補佐 (管財担当)	水草 純			市民課長	斉場三枝	市民係長	村瀬裕圭	くらし文化部長	加藤正純	相談監	浅井雅代	くらし文化部次長	川本保則	たつせがある課長	川本満男	課長補佐 (地域協働担当)	遠藤健一			地域協働係長	堤 健二	交流推進係長	水野香織	悩みごと相談室長	近藤かおり	室長補佐	粕谷庸介	安心安全課長	水野徳泰	課長補佐	山際裕行	防災官	栗寄穂積			環境課長	富田俊晴	主幹	水野正志
市長	吉田一平	副市長	鈴木孝美																																																																										
総務部長	青山 均	同次長兼財政課長	浦川 正																																																																										
税務課長	近藤泰介	課長補佐	正林正己																																																																										
市民税係長	神藤貴司																																																																												
収納課長	高木昭信	主幹	水野 悟																																																																										
課長補佐	山本郁子																																																																												
行政課長	飯島 淳	課長補佐	児玉 剛																																																																										
庶務係長	木全麻規子																																																																												
財政課課長補佐 (財政担当)	嵯峨 剛																																																																												
課長補佐 (管財担当)	水草 純																																																																												
市民課長	斉場三枝	市民係長	村瀬裕圭																																																																										
くらし文化部長	加藤正純	相談監	浅井雅代																																																																										
くらし文化部次長	川本保則	たつせがある課長	川本満男																																																																										
課長補佐 (地域協働担当)	遠藤健一																																																																												
地域協働係長	堤 健二	交流推進係長	水野香織																																																																										
悩みごと相談室長	近藤かおり	室長補佐	粕谷庸介																																																																										
安心安全課長	水野徳泰	課長補佐	山際裕行																																																																										
防災官	栗寄穂積																																																																												
環境課長	富田俊晴	主幹	水野正志																																																																										

課長補佐	嵯峨寛子	ごみ減量推進係長	山田克仁
生涯学習課長	若杉雅弥		
主幹（生涯学習担当）	山本一裕	主幹（スポーツ担当）	山田直樹
生涯学習係長	森 健一	スポーツ係長	山崎暢之
文化の家事務局長	靱山勝人	局長補佐	生田 創
管理係長	白木敏雄		
教育部長	加藤 明	同次長	川本晋司
教育総務課長	山端剛史	指導室長	瀧 義昌
課長補佐	水野真樹	庶務教育係長	諸戸洋子
給食センター所長	河瀬浩司	所長補佐	加藤紀子
中央図書館長	高崎祥一郎		
主幹	二之部香奈子	図書係長	近藤一英
会計管理者	福岡智浩	会計課長	加藤 哲
会計係長	吉田菜穂子		
監査委員事務局長	水野敬久	監査係長	池田泰久
専門員	山田伸恵		
消防長	吉田弘美	次長兼消防署長	加藤龍寿
総務課長	出口史朗	庶務係長	鈴木慎也
予防課主幹	加藤 勲	消防第1課長	伊藤 薫
消防第2課長	松原浩二		
市長公室長	高嶋隆明		
同次長兼政策秘書課長	水野 泰	課長補佐	若杉玲子
秘書係長	伊藤友人		
経営企画課長	日比野裕行	課長補佐	森 延光
経営係長	平岡優一		
人事課長	北川考志	課長補佐	浅井紳一郎
人事係長	安部信一		
情報課長	福岡弘恵	課長補佐	柴田浩善
広報広聴係長	榊本芳樹		
福祉部次長兼福祉施策課長	成瀬 拓		
同次長（長寿、福祉、健康推進担当）兼長寿課長	中野智夫		
福祉施策課課長補佐	山田美代子		
福祉課長	浅井俊光	課長補佐	小田 豊
福祉係	山田菜美	専門員	村瀬紗綾香
長寿課課長補佐（介護保険、地域支援担当）	井上隆雄		
課長補佐（いきいき長寿担当）	伊藤 愁		
地域支援係長	稲垣道生		
子育て支援課長	門前 健		
課長補佐（保育、子ども未来、施設担当）	西本 拓		

	課長補佐（子ども家庭担当） 岡藤彰彦 保育係長 川本理絵 施設係長 岩崎大輔 保険医療課長 林 元美 課長補佐 名久井洋一 医療係長 野田 聡 健康推進課長 南谷 学 主幹 遠藤佳子 課長補佐（母子保健担当） 鈴木晶子 建設部長 角谷俊卓 同次長兼都市計画課長 加藤英之 開発調整監 中垣 智 土木課長 矢野克明 主幹 丸山賢一 維持管理係長 閑谷乙温 工務係長 安井寛樹 都市計画課課長補佐 吉田 学 都市計画係長 水野真紀子 建築係長 樋口展行 みどりの推進課長 磯村和慶 課長（平成こども塾担当） 伊藤正尚 主幹 成瀬 守 主幹 朝井雅之 緑化推進課係長 水野広道 区画整理課長 横地賢一 区画整理係長 富田昌樹 公園西駅開発推進室長 山本晃司 室長補佐 伊藤直幸 計 118 名
職務のため出席した者の職氏名	議長 加藤和男 議会事務局長 福岡隆也 主幹 貝沼圭子
会 議 録	別紙のとおり

別紙

9月8日（金）

委員長 開会宣言
議長 あいさつ
市長 あいさつ

認定第1号

委員長 本委員会に付託された認定第1号平成28年度長久手市一般会計決算認定についてを議題とする。初めに決算の概要について説明を求める。

市長 決算の概要について説明

委員長 たつせがある課には、コミュニティ活動事業補助金、まちづくり事業交付金、リニモテラス公益施設（仮称）整備について、また、子育て支援課には放課後デイサービス事業について資料提出を事前に依頼し、提出があったので活用されたい。

それでは、予め通知した順に決算の説明を求める。

税務課

税務課長 税務課の決算について説明

大島委員 決算書19ページ 国有資産交付金12万3,000円
決算書19ページ 県有資産交付金2,245万2,800円
対象物件は何か。

税務課長 国有資産は確認して報告する。（⇒報告は5ページ）県有資産は県営住宅、農業総合試験場官舎の固定資産相当分である。公園、学校は元来非課税なので交付はない。

大島委員 リニモの橋脚は県だと思うが、対象にならないのか。

税務課長 橋脚、車両基地は愛知高速交通に課税している。

大島委員 決算書129ページ 地方税電子化協議会負担金100万4,112円
地方税電子化協議会の事業内容、所在地、運営主体はどのようなか。

税務課長 一般社団法人地方税電子化協議会は東京に事務所を置き、電子申告システムの開発、運営普及をする団体である。負担金は、住民基本台帳人口、税収額、納税義務者数等により案分される。

さとう委員 決算書18、19ページ 市民税
個人市民税は予算は4パーセント増の見込みだったが、決算は微減となった。1人当たりの納税額の推移はどのようなか。

税務課長 調定額で比較すると平成27年度は14万8,430円、平成28年度は14万4,140円で約4,200円減少した。

大島委員 法人市民税の納税義務者数は資本金等1億円超が229社であるが、地

方税法第 312 条による法人区分の 5 号法人（従業員 50 人以下）、6 号法人（従業員 50 人超）のどちらか。また、本市は何号法人の割合が多いか。

税務課長 5 号、6 号法人数は確認して報告する。中間的な資本金 1,000 万円超 1 億円以下の法人の割合が多く、例年と大差ないと思っている。

※1 「5号法人 94、6号法人6」と資料提出あり

山田委員 決算書 131 ページ 固定資産現況調査業務委託 1,175 万 3,700 円 調査を委託しているのか。

課長補佐 現地調査は職員がしているが、そのための資料作成や管理を委託している。

大島委員 家屋評価は、規模により市、県で分担している。市職員だけで対応できない場合の費用負担はあるか。

課長補佐 非木造 500 平方メートル以上の場合は県が評価する。県、市で情報共有するので費用負担はない。

委員長 他になければ、税務課の質疑及び意見は以上で終了する。

収納課

収納課長 収納課の決算について説明

大島委員 決算書 129 ページ 徴税事業 4,985 万 8,059 円 通貨以外にどのようなものを差押とするのか。

収納課長 預金口座をおさえることが多いが、給料、不動産、生命保険等が対象になる。

さとう委員 個人市民税 3,031 万円、法人市民税 552 万円、固定資産税 2,645 万円、都市計画税 447 万円の不納欠損はそれぞれ何件か。1 年で急激に増えた理由は何か。

収納課長 個人市民税 363 件、法人市民税 19 件、固定資産税 191 件、都市計画税 191 件である。1 人で個人市民税、固定資産税の計 1,600 万円の不納欠損があり、その家族の固定資産税分をあわせ約 2,800 万円の不納欠損があった。また、平成 25 年の執行停止分の債権消滅が、個人市民税 180 万円、法人市民税 460 万円その他を合わせ約 680 万円あり、この 2 件で 50 パーセント強を占める。

さとう委員 決算書 129 ページ クレジット収納業務委託 61 万 5,600 円 クレジット収納の実績はどのようなか。

収納課長 平成 28 年度の利用状況は、個人住民税 244 件 1,758 万 7500 円、固定資産税・都市計画税 603 件 3,544 万 7,200 円、軽自動車税 108 件 63 万 2,200 円、国民健康保険税 232 件 611 万 7,500 円の合計 1,187 件 6,005 万 4,400 円である。

大島委員 決算書 129 ページ クレジット収納業務委託 61 万 5,600 円

クレジット収納の利用者は3パーセントと低く、納税義務者が手数料を負担する。クレジット収納は続けるのか。

収納課長

コンビニ収納は便利さに、クレジット収納は納期内納付に利点がある。納期内納付は、滞納を減らすスタートラインと考えている。クレジット収納は件数、金額ともに伸びているが、定着にはもう少し時間がかかると思うので啓発に努め、納期内納付を促進したい。

大島委員

方法別納付状況の資料提供をお願いしたい。

※2「市県民税 納付書 45.5 パーセント、口座振替 33.3 パーセント、コンビニ収納 20.2 パーセント、クレジット収納 1.1 パーセント。固定資産税・都市計画税 納付書 51.4 パーセント、口座振替 36.8 パーセント、コンビニ収納 11.1 パーセント、クレジット収納 0.7 パーセント。軽自動車税 納付書 37.7 パーセント、口座振替 10.3 パーセント、コンビニ収納 51.1 パーセント、クレジット収納 1.0 パーセント」と資料提出あり

委員長

他になければ、収納課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午前 11 時 08 分休憩

午前 11 時 20 分再開

委員長

休憩前に引き続き会議を再開する。

行政課

行政課長

行政課の決算について説明

吉田委員

決算書 91 ページ 行政改革推進事業 78 万 2,680 円

行政改革の目標年次はいつまでか。職員の理解度はどのようなか。

行政課長

行政改革は終わりがなく、継続するものである。この4月に策定した行政改革指針は次期総合計画策定までの期間としたが、次期総合計画策定後はそれに基づいた行政評価を継続したい。平成29年度になるが、意義や適切な目標指標の設定等について職員研修をした。

大島委員

決算書 73 ページ 行政不服審査会委員報酬 2 万 1,900 円

行政不服審は過去10年0件だったが、審査会の議題は何か。

行政課長

行政不服審法の改正により委員会の設置が必要になり、本市及び近隣市の状況等を説明した。

大島委員

決算書 135 ページ 選挙啓発事業 33 万 1,330 円

若年層への啓発として配布した新有権者カードはどのようなものか。

行政課長 はがきサイズの裏面に選挙に関するクイズを載せ、回答者に粗品を渡すことで啓発をする。

山田委員 決算書 75 ページ 競り下げシステム運營業務委託 270 万 7,246 円
平成 28 年度のリバースオークションの実績はどのようか。

行政課長 市指定ゴミ袋の 1 件だった。2 年前の指名競争入札より落札率が約 20 パーセント下がった。

さとう委員 落札率は下がったが、不良品が多く出た。品質維持の担保をどう考えているか。

行政課長 従来の指名競争入札より詳細な仕様書にしている。リバースオークションと不良品の発生が直結するとは言えない。

山田委員 落札率が下がったとはいえ、運営委託料を払うだけの効果はあるか。

行政課長 運営委託料は、予定価格と落札金額の差額の 30 パーセントなので十分効果はある。

さとう委員 決算書 77 ページ 広島平和体験学習事業委託 95 万 2,460 円
応募と派遣はそれぞれ何人か。また、平成 28 年度の派遣は平和記念式典当日ではないが、記念式典に参加するのは難しいか。

行政課長 38 人の応募があり、16 人を派遣した。平成 27 年度の派遣は戦後 70 年の節目の年だったので式典に参加したが、当日の混雑は生徒の負担が大きく負担軽減を考えた。

大島委員 決算書 77 ページ 戦後記念誌作成委託 162 万円
委託料に対して 500 部作成は少ない。誰が、どのように作成したのか。

行政課長 プロポーザル方式で印刷会社に委託し、企画、取材、平和活動推進委員の思いを反映させた。平和活動推進委員の市民の 8 人が編集した。

さとう委員 決算書 91 ページ 行政評価システム職員研修委託 43 万 2,000 円
対象者、研修内容はどのようか。

行政課長 日本能率協会へ委託した。評価票を見直したので作成の意義や意味等について研修した。評価票の差替えが続発した件は、二重、三重のチェックでないようにしたい。

川合委員 決算書 137 ページ 投票所賃借料 1 万円
どこの投票所の賃借料か。

行政課長 大草中集会所、県営長久手住宅集会室の 2 か所である。

委員長 他になければ、行政課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午前 11 時 54 分休憩

午後 1 時 00 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

委員長 税務課（※1）及び収納課（※2）から配布のとおり資料の提出があった。

総務部次長から、発言したい旨申出があったので発言を許可する。

総務部次長 税務課の質疑の際に大島委員から質問のあった国有資産交付金は、国に物納された土地2筆に対する交付金である。

財政課

財政課長 財政課の決算について説明

山田委員 決算書 83 ページ ふるさと寄附金事業委託 13 万 5,846 円
ヤフーのポータルサイトからふるさと寄附はできるか。

課長補佐（財政担当）

1 件につき寄附額の 1 パーセントの手数料が必要になるが、今月 4 日から開始した。

さとう委員 委託料 13 万円余の内容と効果はどのようなか。

財政課長 返品品の野菜BOXの送付を長久手温泉に委託した。出ていく方がかなり多く、効果を図るのは難しい。ポータルサイトの登録、クレジット納付等寄附を集める取り組みに努力している。

岡崎委員 決算書 77 ページ 公用車管理事業

約 240 万円の予算を残す決算であるが、要因は何か。

課長補佐（管財担当）

ハイブリット車への買換え、修繕料、車検手数料や洗車手数料の見込額と実績額の差等により支出が抑えられた。また、施設管理消耗品、事務用椅子の購入に一部流用したが、決算は約 230 万円減となった。

吉田委員 平成 28 年度の修繕は何件か。ドライブレコーダー積載はどの程度か。

課長補佐（管財担当）

事故による修繕は 1 件であるが、エアコン、パンク等維持管理上の修繕もあった。ドライブレコーダーは全車に搭載している。

さとう委員 決算書 95 ページ 公共施設等総合管理計画策定委託 500 万 400 円

総務省は平成 28 年度末までに策定としているが、2 か年かけて策定することは当初からの予定か。

財政課長 公共施設等総合管理計画は、一度作ったら終わりではなく継続するものである。本市は今後も新しい施設を作らなくてはならず、計画の更新が必要であり、重要と考えている。

さとう委員 決算書 365 ページ 公債費

借入金が大きいもの 5 つはどのような事業か。

課長補佐（財政担当）

元金償還金が大きいのは、文化の家建設事業平成9年度分1億905万3,000円、福祉の家建設事業4,893万2,000円、愛知高速交通(株)無利子貸付金平成15年度分3,972万円、同じく平成16年度分2,658万8,000円、文化の家建設事業平成8年度分2,424万円の順である。

委員長 他になければ、財政課の質疑及び意見は以上で終了する。

市民課

市民課長 市民課の決算について説明

岡崎委員 決算書131ページ 住民基本台帳整備事業7,936万7,153円
文化の家で交付した証明書の発行枚数はどれだけか。

市民課長 平成28年度、住民票は写し716枚、その他の証明22件、印鑑登録証明書790枚、町名地番証明書90枚、合計1,618枚を発行した。

岡崎委員 文化の家で住民票等の交付は継続することでいいか。

市民課長 現時点で廃止は考えてない。

さとう委員 決算書133ページ コンビニ交付システム構築委託4,049万4,600円
コンビニ交付はマイナンバーカードがないとメリットがない。マイナンバーカードの交付枚数とコンビニ交付の実績はどのようか。

市民係長 平成29年9月5日現在のマイナンバーカードの交付は5,531枚、9.3パーセントである。コンビニ交付の実績は、確認して報告する。(⇒報告は9ページ)

委員長 他になければ、市民課の質疑及び意見は以上で終了する。

たつせがある課

たつせがある課長

たつせがある課の決算について説明

さとう委員 決算書111ページ 大学連携基本計画策定事業56万1,000円

当初予算の大学連携基本計画策定業務委託430万円が決算書にはない。大学連携基本計画策定委員報償金29万2,000円は、当初予算ない大学連携基本計画事前準備事業協力員報償金26万1,000円に変わった。さらに当初予算にない大学連携基本計画事前調査業務委託30万円が決算書にはある。予算と決算が違うのはなぜか。

たつせがある課長

大学連携基本計画の策定は大学連携包括協定を結ぶ市内4大学の先生に委託予定だったが、調整がつかず未実施となった。大学連携基本計画事前準備事業協力員報償金は、各校の先生に学内の状況取りまとめのために支払った。大学連携基本計画事前調査業務委託は、策定作業の事務整理として先進地事例、各校の状況の取りまとめのため費用を流用した。

大学連携基本計画は、理事会を通し大学が協力した計画にしたいと大

学から意見があったので進め方を変更し、各校の内部調整に時間を要した。

山田委員 決算書 111 ページ リリモテラス整備事業 569 万 9,530 円
リリモテラス整備事業は予算約 2,500 万円が決算約 570 万円となった。
予算、決算の差額が大きい理由は何か。

たつせがある課長

予算段階では、基本設計、実施設計の予定だったが、リリモテラス公益施設は市民主体の運営にしたいと考え、設計から人づくりの構築に変更した。平成 30 年度設計、平成 31 年度工事、平成 32 年度から運用とし、市民の醸成に力を入れ当初の予定から 2 年ほど遅れる。

さとう委員 リリモテラス公益施設（仮称）詳細設計業務委託 561 万 6,000 円
主要事業の成果には、「管理・運営手法の検討を十分にするため」とあるが、委託の成果はどのようなか。

たつせがある課長

方針としては、公設公営、部分委託方式の P F I が考えられるとの結論に達した。100 プロジェクトを進めながら最終決定をしたい。

大島委員 決算書 247 ページ 住民起業支援塾運営委託 79 万 5,722 円
委託先はどこか。起業した受講者はいるか。

たつせがある課長

（株）日本マネジメント協会に委託した。起業には至らないが、準備中の人はいる。

さとう委員 決算書 105 ページ まちづくり事業交付金（小さな拠点形成事業）204 万 3,781 円
当初予算は約 800 万円だったが、200 万円の決算となった理由は何か。
国の交付金事業だが、未執行分は返還するのか。

たつせがある課長

まちづくり協議会準備会のため議論を進める過程で事業実施や方向性は変わり、未執行分は 3 月に減額補正した。平成 28 年度は国の交付金は受けてない。

さとう委員 600 万円が未執行となった理由は何か。

たつせがある課長

西小校区の準備会は、部会事業、地域への啓発事業が一部できなかった。市が洞小校区の準備会は、アンケート事業の一部を市民が行い経費を抑えたことや先進地視察が未実施となった。

さとう委員 決算書 103 ページ 地域アドバイザー報償金 59 万 2,760 円
誰に、どのようなアドバイスをしたのか。

たつせがある課長

現在まちづくりに携わり、元滋賀県職員北川憲司氏に地域担当職員の研修、市が洞地域共生ステーションづくりワークショップ、市が洞小学

校区まちづくり協議会設立準備会に同席し、助言をいただいた。

岡崎委員 決算書 103 ページ 地域振興事業—手数料 238 万 4,830 円
市民活動災害補償制度の活用状況はどのようなか。

たつせがある課長

平成 28 年度は登録 54 団体、給付はけが、備品の損傷の計 4 件だった。

山田委員 決算書 111 ページ 西小学校区共生ステーション管理事業—清掃委託
27 万 1,758 円

決算書 113 ページ (仮称)市が洞小学校区共生ステーション管理事業—清掃委託 10 万 7,856 円

清掃は利用者ができない特殊なものか。地域共生ステーションなら地域スマイルポイントの対象にして自分達でできないか。

たつせがある課長

外壁の窓ふき等を週 2 回、シルバー人材センターに委託している。地域スマイルポイントについては検討したい。

川合委員 決算書 111 ページ 西小校区共生ステーション管理事業 1,173 万
2,787 円

共生ステーションが整備されると、各施設この程度の管理費が必要か。お金はかからないから共生ステーションを整備すると言って始めたが、市が洞小校区にでき、北小校区でも進んでいる今、これだけ管理費が必要なことをどう考えているか。

たつせがある課長

西小校区共生ステーションの管理費は、人件費が約半分を占めている。他の校区も同様であればこの程度は必要になる。全校区に共生ステーションができれば、管理をまちづくり協議会に移管したい。

川合委員 これだけ経費がかかれば「わずらわしいまちづくり」ではない。全校区まちづくり協議会ができてからでなく、今からではないか。

副市長 西小校区共生ステーションは、建物を造ったことで日常管理が必要になったが、地域で十分な施設管理運営の形ができてない。市の施設でもあるので囑託員を配置している。最終的には、地域の財産として地域で管理運営をしてほしい。市の考えと現状に差があるので、そこを課題としたい。

さとう委員 決算書 113 ページ (仮称)市が洞小学校区共生ステーション整備事業—地域共生ステーション用地 537 万円

用地購入費として 3,600 万円の予算措置があたっが、537 万円とはどういうことか。

たつせがある課長

購入予定地は 2 筆あり、平成 28 年度に購入した国有地分である。もう 1 筆の私有地は、平成 29 年度に購入した。

大島委員 決算書 103 ページ コミュニティ推進事業補助金 997 万 5,019 円

交付団体は市の監査の対象団体となるのか。

たつせがある課長

事業費補助の交付事務は、担当課であるたつせがある課が定期監査を受ける。

大島委員 たつせがある課は、交付団体にどのような監査をするのか。

たつせがある課長

コミュニティ推進事業補助金は活動費補助であり、交付団体が提出した実績報告で支出内容を確認している。

佐野委員 書面上でどのように確認しているのか。

たつせがある課長

実績報告書に基づき領収書、支出金額を確認している。

佐野委員 支出は、担当課が細かくチェックしているということか。

たつせがある課長

そのとおりである。

委員長 他になければ、たつせがある課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午後 2 時 29 分休憩

午後 2 時 40 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

委員長 総務部次長から、発言したい旨申出があったので発言を許可する。

総務部次長 市民課の質疑の際にさとう委員から質問のあった平成 29 年 4 月 5 日に開始したコンビニ交付は、8 月 31 日現在で 141 枚である。

悩みごと相談室

悩みごと相談室長

悩みごと相談室の決算について説明

大島委員 決算書 79 ページ 一般事務嘱託員報酬 220 万 7,794 円

嘱託員の勤務形態と担当業務はどのようなか。

悩みごと相談室長

平成 28 年度は 5 月から 3 月まで嘱託員を配置した。月曜から金曜までの 1 日 6 時間勤務で、一般相談を中心に窓口で相談にあたった。

吉田委員 地域包括支援センター、コミュニティソーシャルワーカーとのコミュニケーションの取り方はどのようなか。

悩みごと相談室長

コミュニティソーシャルワーカーとは状況把握や地域の支援について、地域包括支援センターとはケース会議で情報共有や役割分担をする。急性期には複数の支援が必要になり、ケースごとに必要な連携をとる。

さとう委員 市民相談事業の予算には一般事務賃金約 140 万円を計上していたが、決算にないのはなぜか。

悩みごと相談室長

嘱託員と職員で対応可能と判断し、減額補正した。

さとう委員 決算書 79 ページ 専門相談員委託料 69 万 264 円
市が弁護士資格のある任期付職員を採用した時は、法律相談も担当するののか。

総務部次長 弁護士資格のある任期付任用職員は、市の業務上の法的助言をするもので市民の相談対応ではない。

山田委員 市の顧問弁護士が兼任できないのか。

総務部次長 顧問弁護士は行政の法律相談のために委託している。

委員長 他になれば、悩みごと相談室の質疑及び意見は以上で終了する。

安心安全課

安心安全課長 安心安全課の決算について説明

吉田委員 決算書 117 ページ 巡回バス運行事業 1 億 988 万 5,557 円
ワンボックスカー導入の評価はどのようなか。車両を小さくし小型バスにすることは考えているか。

安心安全課長 今まで乗り入れできなかった地域の利用者から便利になったとの声があり、ワンボックスカー導入の効果はあった。また、車両の小型化はワンボックスカーを導入したばかりであり、状況を見ながら検討したい。

吉田委員 瀬戸市、尾張旭市のコミュニティバスにはスポンサー広告があるが、本市はしないのか。

安心安全課長 まずは事例研究したい。

大島委員 N-バスの運行は約 1 億 900 万円で委託しているが、収支率はどのようなか。

安心安全課長 収支率ではないが、有料乗車分 516 万 3,400 円の収入があった。

大島委員 委託料に対し 4.7 パーセントになる。日進市、尾張旭市は、収支率 2 割を切れば見直しをしている。本市は収支等を勘案せず、このまま継続するのか。

安心安全課長 N-バスはコミュニティバスであり、交通空白地帯の解消、外出促進等の目的がある。無料乗車は約 80 パーセントであるが、撤廃、値上げを現在考えてない。高齢者人口の増加等将来的な課題とは認識している。

副市長 運転免許証自主返納、怖くて運転できない、バス停まで行けない高齢者等新しい交通弱者が出現し、自宅前から乗車できる等新しい交通手段

が必要になってきた。運賃の有料化を推進しながら新しいサービスの構築を検討する段階になってきたと思っているが、関係者とも協議したい。

- 山田委員 決算書ペ 119 ページ 防犯カメラ設置費補助金 407 万 1,000 円
16 台の防犯カメラの設置はどの地域か。
- 安心安全課長 長湫地区長久手小学校区自治会連合会 3 台、西小校区自治会連合会 4 台、長湫地区北部自治会連合会 2 台、岩作区会 4 台、大草区会 1 台、北熊区 2 台である。
- 岡崎委員 決算書 119 ページ 防犯交通囑託員報酬 1,323 万 5,498 円
セーフティステーションの勤務体制はどのようなか。
- 安心安全課長 6 人体制で週 7 日をローテーションしている。
- 岡崎委員 青パトはマイク広報をしながら走行できないのか。パトロールをするなら危険な自転車走行や子どもに注意喚起していほしい。
- 課長補佐 検討したい。
- さとう委員 6 人は警察 O B だが、市民の警察 O B 採用は難しいのか。
- 安心安全課長 愛知警察署勤務経験者に適任者がいれば雇用したい。
- さとう委員 決算書 123 ページ 自主防災倉庫設置工事 64 万 3,680 円
何か所に設置し、設置率はどれだけになったのか。
- 防災官 2 地区に設置し、6 割を超えた。
- さとう委員 自主防災組織のない地区には、何もしないのか。
- 安心安全課長 自主防災会のない地区には、年度当初に設立を依頼している。自主防災会のない地域から防災訓練の相談があれば、サポートすると共に設立をお願いしている。
- 川合委員 決算書 121 ページ L E D 防犯灯導入調査委託 766 万 8,000 円
何を調べたのか。
- 安心安全課長 既存の蛍光灯の防犯灯の地点を確認し、データベース化する。それにより設置場所を特定し、工事をする。L E D 灯はリースとしその費用を含む 3,187 灯が対象である。
- 川合委員 L E D 灯はまぶしい、見にくいとの声を聞くが、最適な防犯灯を選んだか。
- 安心安全課長 照度については工事後に光の広がりを確認し、必要な場合は遮光するよう考慮した。
- 川合委員 調査、工事、リース料等の費用はどのようなか。
- 安心安全課長 国の外郭団体の全額補助である。
- 委員長 他になければ、安心安全課の質疑及び意見は以上で終了する。

環境課

- 環境課長 環境課の決算について説明
- 大島委員 決算書 231 ページ 資源回収奨励金 219 万円
子ども会の古紙回収の収入の仕組みはどのようなか。

環境課長 古紙回収業者からと市の奨励金の2つと思われる。古紙、布、段ボールは1キロ4円、牛乳パックは1キロ8円を奨励金として支出する。子ども会からは前・後期の2回申請があり、数量把握のために売払い時の計量票を添付してもらおう。

吉田委員 決算書 229 ページ 動物処理委託 132 万 6,780 円
処理件数は何件か。9月は、動物愛護週間があるので自治会回覧等の検討をしてほしい。

環境課長 273 件であるが、これは路上のネコ、トリ、イタチ等の死骸の処理件数であり、動物愛護につながる数字ではない。

課長補佐 今月、野良猫の避妊、去勢について自治会回覧する。

大島委員 決算書 221 ページ 自然環境保全等事業委託 228 万 9,600 円
実施回数及び市民参加者はどのようなか。

課長補佐 平成 26 年度から外来種のカメとオオキンケイギクについて毎年度交互に駆除をしてきた。平成 28 年度は、8月に杵ヶ池でミシシippアカミミガメの勉強会を開いた。杵ヶ池のカメは市民団体である NEXPO の駆除活動もあり、平成 26 年度 111 匹、平成 27 年度 66 匹、平成 28 年度 63 匹と駆除の個体数が減ってきた。

さとう委員 決算書 227 ページ 清掃事務事業—印刷製本費 2,271 万 2,373 円
リバースオークションでゴミ袋を作成して経費を抑えたが、不良品が多発している。仕様書どおりか、品質が担保されているか確認したか。

環境課長 ゴミ袋の品質は破壊検査で確認している。業者が変わったことで不良品が多発したとは考えてない。

さとう委員 請負業者が発注した中国の工場の仕事が雑だったので別の工場に変えたと聞くが、価格面で無理があったのではないか。

ごみ減量推進係長

工場を変えたのではなく、作業の仕方を変えたと聞いている。

佐野委員 決算書 229 ページ ごみ収集及び運搬委託 6,115 万 8,960 円
日々トラブル、苦情があると思うが、プロポーザルにすると改善される可能性はないか。

環境課長 単に価格だけの競争にすると、安かろう、悪かろうになる。入札が価格競争だけにならないよう最低制限価格を設けている。次回からは、プロポーザル等新しい方式を検討している。

委員長 他になければ、環境課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午後 3 時 50 分休憩

午後 4 時 00 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

生涯学習課

生涯学習課長 生涯学習課の決算について説明

大島委員 決算書 349 ページ 古民家調査委託 159 万 3,000 円

古民家の定義をどのようなものとしてどこに委託したか。古民家の所在地はどこか。

生涯学習課長 18 世紀末頃に建てられ、鳥居建形式で現存する市内最古の加藤邸の調査をした。岩作石田地内に所在する。

さとう委員 この古民家は、古戦場公園再整備の際に移築する計画だが時代が合わない。コンセプトと合意形成はどこでしたのか。

生涯学習課長 古戦場公園再整備市民のワークショップでも意見をもらった。時代が違うとの意見はあったが、西側ゾーンに体験、交流の場として整備することで合意を得ている。

大島委員 先ほど質問した古民家の定義と調査の委託先の回答がない。誰が、どう古民家と認定したのか。

生涯学習課長 神社、仏閣、古民家、文化財の建築を請負う中島工務店に委託した。これまでに加藤邸ともう 1 棟の江戸期の古民家について愛知工業大学が調査し、鳥居建形式の古民家として価値があるとしている。

大島委員 市は古民家として認定し、保存、修理することが決まっているのか。所有者から譲られることが前提か。

生涯学習課長 西側ゾーンに体験施設として移築することになっている。個人所有であるが、相続人から寄附の同意をもらっている。

ささせ委員 古戦場公園再整備計画の会議では、当時の状況に近づけるという方向性で話があった。色金山歴史公園も同様の声があったが、現状はどのようか。

生涯学習係長 長久手古戦場保存活用計画を検討中である。色金山歴史公園の展望テラスの眺望は樹木が茂り往時をしのぶことができないので、樹木の伐採を含む保存活用計画を検討したい。

さとう委員 決算書 359 ページ 総合型スポーツクラブ運営事業 287 万 8,528 円
総合型地域スポーツクラブの会員数の推移はどのようか。

主幹 確認して報告する。

※3 「平成 24 年度以降、434 人、420 人、402 人、447 人と推移し、平成 28 年度は 545 人」と資料提出あり

山田委員 決算書 63 ページに総合型地域スポーツクラブ教室等参加料 333 万 8,200 円の歳入があるが、287 万円の支出に対して 333 万円の収入があ

ったと理解していいのか。

生涯学習課長 そのとおり。

さとう委員 決算書 357 ページ 学校プール開放事業 422 万 5,250 円
新たに南小学校のプール開放を開始したが、利用者数と効果はどのようか。

スポーツ係長 平成 27 年度の 1,422 人に対し、平成 28 年度は 2,439 人と利用者が千人以上増え効果はあった。

大島委員 決算書 361 ページ スポーツの杜借地料 3,177 万 4,783 円
借地契約はいつまでか。また、地権者は何人か。

スポーツ係長 借地契約は平成 26 年から 10 年間、地権者は 9 人である。

川合委員 契約満了後はどうするのか。これまでの借地料を考えれば、すでに購入できた金額になっている。

主幹 平成 28 年度に策定したスポーツ施設整備等基本構想では、公有地化を検討としている。

佐野委員 決算書 363 ページ 杵ヶ池公園改修工事 7,892 万 7,480 円
園路改修等に対応できなかったところの土砂の流入はどうするのか。

主幹 園路斜面のことかと思うが、これまでは竹柵やチップの散布等平面部分の対応だったが、緑化プロジェクトと協働して少しでも砂の流出が抑えられるような作業をしている。

委員長 他になければ、生涯学習課の質疑及び意見は以上で終了する。

文化の家

文化の家事務局長

文化の家の決算について説明

大島委員 決算書 37 ページ 国庫補助金－文化芸術振興補助金 305 万円
305 万円の充当先は何か。

文化の家事務局長

決算書 343 ページの創造スタッフ委託料、決算書 345 ページのホール公演事業の報償費及び委託料、決算書 347 ページのアウトリーチ事業委託料に充当した。

さとう委員 決算書 345 ページ レストラン備品購入費 106 万 3,584 円
当初予算にない支出だが、市が備える物品か。

文化の家事務局長

開館時に備付けた備品は、市の備品として対応した。食洗機と冷蔵庫を購入した。

山田委員 決算書 345 ページ 文化の家管理事業－委託料 1 億 3,129 万 6,077 円
改修工事に伴う長期休館中の委託業務は、どのように変更したのか。

文化の家事務局長

警備は 4 人から 2 人、清掃は 7 人から 1 人、舞台管理は 3 人から 1 人

態勢に、受付業務はなしに変更した。

さとう委員 決算書 345 ページ 文化の家整備事業 6,697 万 7,760 円
当初予算 4 億 5,136 万円に対し、6,697 万円余の決算になっている。
予算と決算の差額が大きい、その説明を求める。

管理係長 契約金額の 4 割を前払い金として請求があった業者に払うが、建築、
機械設備、屋上駐車場工事の 3 者から請求があり支出した。その他の工
事は、継続費になっているので平成 29 年度に支払う。

川合委員 決算書 602 ページ 財産に関する調書—物品「溪流灰釉鉢」
以前議員控室にあった加藤瞬陶氏の作品だが、鑑賞できる所へと移し
た。館長控室に置くのではなく、展示して見せることを考えてほしい。

文化の家事務局長
展示の機会があれば考えたい。

委員長 他になれば、文化の家の質疑及び意見は以上で終了する。

教育総務課

教育総務課長 教育総務課の決算について説明

吉田委員 決算書 319 ページ 長久手中学校管理事業—植栽維持管理工事 360 万
5,040 円

3 中学校の内、他の 2 校は 100 万円程度だが、この差は何か。

教育総務課長 長久手中学校は他の 2 校に比べ管理本数が多く、金額に差がある。

山田委員 決算書 327 ページ 北中学校教育振興事業—図書 184 万 1,677 円
北中学校の図書費は他校より多いが、標準図書の基準は満たしている
か。

教育総務課長 満たしている。

さとう委員 決算書 293 ページ 適応指導教室事業 822 万 8,733 円
入級者は不登校とカウントする内の何人か。

指導室長 確認後、報告する。(⇒報告は 16 ページ)

大島委員 決算書 289 ページ 教育支援アドバイザー報償金 10 万円
誰が、どのようなことをしたのか。

教育総務課長 元大空小学校長の木村氏により、8 月に現職教育の全体会で教職員向
けの講演会、12 月には保護者向けの講習会を実施した。

川合委員 決算書 289 ページ いじめ問題対策連絡協議会員報酬 3 万 6,500 円
問題があって開いた報酬か。

教育総務課長 年 1 回の定期開催である。

さとう委員 決算書 325 ページ 長久手中学校教育振興事業—一部活動手当 38 万
5,800 円

報償費として部活手当があり、南中、北中にも同様にあるが、どのよ
うな計算で支給するのか。

庶務教育係長 平日の勤務時間外の指導に対し 1 時間 200 円で予算を上限に支給する。

勤務時間内の指導については、県費の教員は、手当が支給されているので市費の部活手当は対処外となる。

さとう委員 部活の外部講師の検討はどうなったか。

教育総務課長 文化スポーツクラブに登録して活動してもらっている。

岡崎委員 決算書 295 ページ 長久手小学校管理事業－学校評議員報償金 4 万 4,000 円ほか各校の学校評議員報償金

指導室長 各校の決算に学校評議員報償金があるが、どのような人がなれるのか。学識者、PTA、OB、地域等バランスを考慮し、校長が 4、5 人を選んでい

教育総務課長 適応指導教室の入級者について確認できたので報告する。平成 27 年度は、小学生 4 人、中学生 8 人の計 12 人。平成 28 年度は、小学生 3 人、中学生 11 人の計 14 人である。

不登校児童生徒に対する割合は確認後、報告する。(⇒報告は 18 ページ)

委員長 他になければ、教育総務課の質疑及び意見は以上で終了する。

給食センター

給食センター所長

給食センターの決算について説明

さとう委員 決算書 367 ページ 調理作業員賃金 1,386 万 1,905 円

調理作業員賃金の当初予算 2,311 万 8,000 円と決算額の差額約 1,000 万の説明を求める。

所長補佐 平成 28 年度 8 月から学校給食調理を委託にした。4 月から 7 月までは 40 人の調理員を雇用する計画で当初予算に計上した。しかし、32 人体制になることもあり、予定数の調理員が雇用できなかった。

さとう委員 決算書 369 ページ 長久手給食センター調理等業務委託 8,850 万 6,000 円

当初予算 9,800 万円との差額の説明を求める。

給食センター所長

請負差金と考えている。

岡崎委員 食材は市が提供するが、中国産の食材は使用しているか。

給食センター所長

食材としては使ってないが、調味料の原材料として含まれることはある。

さとう委員 アレルギー食の調理は何食か。卵だけを食材とした料理は、代替食の提供ができずおかずが 1 品少なくなるが、同じ品数の給食を提供できないか。

給食センター所長

栄養バランスを考慮すると代替食が用意できない卵料理を献立から

除くことは難しい。卵、乳の除去食になるが、学校給食 44 食、保育園給食 46 食である。

委員長 他になければ、給食センターの質疑及び意見は以上で終了する。

委員長 生涯学習課から配布のとおり資料の提出があった。 ※3

中央図書館

中央図書館長 中央図書館の決算について説明

さとう委員 決算書 339 ページ 図書資料 1,469 万 8,854 円

平成 28 年度の当初予算は、防犯カメラを設置するため 200 万円少なかった。さらに南駐車場舗装工事のために 330 万円を流用した。図書館は資料購入を減らさなくてはいけないのか。

中央図書館長 南第一駐車場整備工事は、図書資料予算を減らしても対処すべき事案だった。

川合委員 図書館が図書資料予算を流用することは情けない。流用分はどう補填するのか。

中央図書館長 平成 29 年度は 2,000 万円の予算を組んだ。

さとう委員 決算書 337 ページ 図書館運営協議会委員報酬 10 万 9,500 円

運営委員会では、平成 28 年度中に図書館の指定管理について検討する委員会を立ち上げることになっていたが、どうなったか。

中央図書館長 立ち上げには至らなかったが、現在、委員、日程等調整中である。

大島委員 決算書 339 ページ 図書館アンケート調査業務委託 34 万 5,600 円

指定管理検討の事前資料のための実施か。

中央図書館長 開館時間、開館日、サービス等現状についてのアンケートである。

大島委員 不定期実施であれば、今回の実施目的は何か。調査結果から改善や成果はあるのか。

中央図書館長 管理、運営の事前調査として実施し、学習室の平日の利用時間を 2 時間延長し、午後 7 時までとした。

さとう委員 決算書 341 ページ 備品購入費 156 万 6,000 円

防犯カメラ 12 台を設置したが、不明本は減少したか。

中央図書館長 平成 27 年度 356 冊が平成 28 年度 310 冊と微減ではあるが、減少した。

佐野委員 不明本が減らないのは、防犯カメラが抑止力になってないのか、防犯カメラがあることの周知不足なのか、どちらだと考えているか。また、今後の対策について方針はどのようか。

中央図書館長 防犯カメラは来館者の見える所にあり、館内表示も変えたので抑止力にはなっている。今後は、持ち去りは犯罪であることの掲出、図書館所蔵品のシールを貼る等の対応をしたい。

委員長 他になければ、中央図書館の質疑及び意見は以上で終了する。

会計課

- 会計課長 会計課の決算について説明
- 岡崎委員 指定金融機関の検討状況はどのようなか。
- 会計課長 2機関から申請があった。指定金融機関の変更は歳入システムがポイントになり、情報収集を進めると課題が見つかった。平成30年度から下水道事業が公営企業化するので、現行のままと考えている。
- 岡崎委員 歳入システムの課題がクリアできればいいのか。
- 会計課長 どのような指定の在り方がいいのか調査研究している。
- 大島委員 指定金融機関は公募すると議会答弁している。
- 会計課長 議会答弁後、歳入システムの課題は調査研究する中でわかった。コンペやプロポーザルで指定金融機関を変更する自治体が多いようである。どのような方法で決めるかは情報収集中である。
- 委員長 他になれば、会計課の質疑及び意見は以上で終了する。
- 委員長 教育総務課長から、発言したい旨申出があったので発言を許可する。
- 教育総務課長 さとう委員の質問の不登校の内適応指導教室への通所は、27.45パーセントである。

監査委員事務局

- 監査委員事務局 監査委員事務局の決算について説明
- さとう委員 決算書141ページ 監査委員報酬
- 監査委員事務局 地方自治法の改正で議会選出の監査委員が必須ではなくなった。公認会計士等専門家の監査委員を置く必要性は感じているか。
- 監査委員事務局 課題と思っているが、当面は現行体制で考えている。
- 委員長 他になれば、監査委員事務局の質疑及び意見は以上で終了する。
- 本日はこの程度にとどめ、9月11日(月)午前10時から決算特別委員会を開く。これにて散会とする。

午後6時07分散会

9月11日(月)

午前10時00分再開

委員長 9月8日に引き続き、認定第1号の審査をする。

消防本部

総務課長 消防の決算について説明

吉田委員 決算書 281 ページ 消防団活性化時事業 591 万 1,883 円
予算額と決算額に約 100 万円の開きがある理由は何か。

総務課長 確認次第報告する。(⇒報告は 20 ページ)

吉田委員 消防団の活動費が足りないとの声を聞くが、どう考えているか。

総務課長 年末夜警、消防操法訓練、県消防操法大会出場に報償金を支出している。報償金の使途は確認してないが、活動に見合う金額と考えている。

さとう委員 決算書 283 ページ 消防団員報酬 584 万 7,000 円

平成 27 年度決算額より少なくなったのは、団員数の減少によるものか。平成 28 年度は何人に支給したのか。

総務課長 支出額の減少は団員数の減少による。団員報酬は前後期の 2 回支給し、前期は 131 人、後期は 132 人だった。

大島委員 決算書 273 ページ 防災ヘリコプター負担金 98 万 2,318 円
負担金の算出はどのようで、どこに払うのか。

総務課長 防災ヘリは愛知県が所有しているので、人口割により負担している

大島委員 決算書 273 ページ 消防力適正配置等調査業務委託負担金 77 万 7,600 円

どのような内容か。

総務課長 消防防災科学センターに委託し、消防広域化により得られるメリット等を調査した。

山田委員 決算書 277 ページ 救急機材 130 万 6,238 円

決算書 279 ページ A E D 賃借料 98 万 8,848 円

救急資材は 84 万 3,000 円で A E D を購入した。コンビニ設置の A E D はリースであるが、購入した A E D はどう利用するか。

消防第 2 課長 車両積載用の A E D を更新するため購入した。コンビニ設置の A E D は点検、消耗品を含めリースしている。

岡崎委員 コンビニの A E D の利用状況はどのようか。

消防第 2 課長 使用実績はない。

岡崎委員 決算書 275 ページ 防火管理指導事業 1 万 440 円

主要事業の成果に第一種防火対象物の立入検査は、計画数 85 事業所、実施数 75 事業所とあり、実施率 100 パーセントでない。未実施の事業所への対応はどのようか。

消防第 1 課長 立入検査は通知をして実施するが、立会いが得られない事業所はできなかった。未実施の事業所には再度通知する。

- さとう委員 平成 28 年度は軽症者の救急搬送が大幅に増加したが、救急車の適正利用の工夫はしているか。軽症者の搬送が増加した要因は何か。
- 消防第 2 課長 救急車の適正利用については広報、ポスター等で啓発している。消防庁の「全国版救急診断アプリ」をダウンロードすれば、救急車の要否が判定できる。軽症者の搬送には慢性疾患のある高齢者の救急要請がある。
- 佐野委員 高齢者が救急車を呼ぶ理由はほかにもあると思う。地域包括支援センター、コミュニティソーシャルワーカーと連携して要請がないようにしているか。
- 消防第 2 課長 連携は必要と思うが、実際に要請する人のほとんどが慢性疾患を抱え、救急車を出さないことのリスクもある。
- 大島委員 決算書 279 ページ 病院研修委託 137 万 3,888 円
どこで、どのような研修をするのか。
- 消防第 2 課長 救急隊 1 隊が病院に待機し、救急外来、I C U 等で救急処置について医師から指示や助言を受ける研修を定期的実施している。愛知医科大学病院、公立陶生病院、豊田厚生病院、名古屋第二赤十字病院（八事日赤）等が委託先となる。また、愛知医科大学病院では、毎週火曜日の 9 時から 17 時まで待機させ、救急救命センターや I C U で研修をする。
- さとう委員 決算書 283 ページ 常備消防施設維持管理事業 2,014 万 7,863 円
決算額は当初予算の倍と大きく増加した。消防庁舎の老朽化は使用に耐えうるのか。消防の広域化に伴う一部事務組合移行後の消防庁舎の修繕等は誰がするのか。
- 総務課長 庁舎は昭和 58 年の建設で老朽化はあるが、修繕対応で使用できる。一部事務組合移行後の改修、修繕費用の負担は決まってない。
- 総務課長 吉田委員の消防団活性化事業の質問について確認できたので報告する。予算に対し決算が約 100 万円減少したのは、消防団員新基準活動服が約 30 万円、デジタル M C A 無線機が約 40 万円が予算額より安く調達できたこと等が主な要因である。
- 委員長 他になければ、消防本部の質疑及び意見は以上で終了する。

政策秘書課

- 政策秘書長 政策秘書課の決算について説明
- 大島委員 決算書 89 ページ 市長交際費 27 万 7,840 円
80 万円の予算額に対し不用額が大きい。毎年不用額とするなら、予算の段階で検討すべきではないか。
- 政策秘書課長 不要な支出は抑えているので不用額は発生する。これまで 100 万円から 80 万円に減額したこともあり、安易な予算計上ではない。
- さとう委員 決算書 89 ページ 市長会負担金 82 万 3,000 円
愛知県市長会は 1 億 3,300 万円ほどの基金残高があるが、負担金でどのような事業をしているのか。

政策秘書課長 全国、東海、愛知県のそれぞれに市長会があり、市長の会議や総会等の会議のほか研修会、要請活動等をしている。全国市長会 35 万 7,000 円、愛知県市長会 40 万 1,000 円の年負担金のほか、会議や研修会の参加負担金を合わせ 82 万 3,000 円となる。

さとう委員 決算書 95 ページ ホームページ「市民主体の計画づくり」一覧ページ作成業務委託 43 万 2,000 円

主要事業の成果の政策事務事業の活動状況には、市民主体の計画づくりのためにチラシ印刷、広報折込、ホームページ作成委託等記載があり、その事業費は 113 万 1,000 円とある。2 月の広報にチラシを折り込んだが事業は遅れ、この 113 万円はいかされたのか。

政策秘書課長 初の試みとして 10 の計画の市民参加をまとめて募集した。予定より遅れている計画もあるが、広く周知でき多くの参加を得る点で一定の効果はあった。

川合委員 3 万部のチラシ配布に対し 169 人ということについて市民への周知が十分と言えるか検証したか。チラシを見て参加したのは何人か。

政策秘書課長 今年度作業予定の計画への参加をまとめて募るということを初めてやった。チラシがきっかけで何人応募したかはつかんでない。まずは周知し、集まってもらうきっかけになればと考えた。

さとう委員 決算書 93 ページ アドバイザー報償金 7 万 2,000 円

アドバイザー報償金の内容はどのようなか。また、当初予算にまちづくり調査業務委託 178 万 1,000 円があったが、未執行となった理由は何か。

政策秘書課長 アドバイザー 2 人の会議 2 回分の報償金である。まちづくり調査業務委託は、政策課題の整理、先進地事例の調査を必要とする課題がなかった。この委託料の予算は、市民主体の計画づくりのチラシ印刷とホームページ作成委託に流用した。

さとう委員 先進事例や新規施策の課題がないはずはない。流用までしたチラシ作成の計画づくりは予定どおり進んでない。アドバイザー会議の内容はどのようなか。

政策秘書課長 今後の土地利用、市長と職員のまちづくりの考え方の共有化についてアドバイスをもらった。

佐野委員 どのような人がアドバイザーなのか。

政策秘書課長 民間企業の経営管理の経験者、大学における法学経験者の 2 人である。

佐野委員 ホームページ「市民主体の計画づくり」一覧ページ作成は割高感があるが、何を委託したのか。

政策秘書課長 トップページにバナーを貼り、10 の計画の策定過程を市民に公開できるようにした。

委員長 他になければ、政策秘書課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午前 11 時 00 分休憩

午前 11 時 10 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

経営企画課

経営企画課長 経営企画課の決算について説明

大島委員 決算書 91 ページ 自治基本条例策定等委託 285 万 1,200 円
市民、職員による検討委員会のまとめは、なでラボの職員だと思って
いたが委託した。誰が方針を決めるのか。

経営企画課長 検討委員会は専門家の力を借り、論点整理をして市民の意見を総合的
にまとめる技術支援が必要と判断した。ワークショップの取りまとめは、
なでラボ経験の職員や市民の力を借りた。経験豊富なメンバーもいるの
でその力も借りワークショップを進めた。

吉田委員 決算書 93 ページ 地域公共交通会議事業 318 万 5,846 円
地域交通会議会長の在職期間が長い理由は何か。

経営企画課長 地域の交通事業の把握をされ、周辺自治体の委員を務めている交通工
学が専門の名城大学の松本教授に会長をお願いしている。

大島委員 地域公共交通会議負担金 302 万 4,756 円の振込先はどこか。

経営企画課長 地域公共交通会議会長名義の口座に振り込む。

大島委員 担当課長名義の口座ではないのか。

経営企画課長 公共交通会議事務局である経営企画課長名義の口座が正しいので訂
正する。振り込まれた負担金は、運営支援業務、Nーバス補助金申請支
援業務、活動支援、情報誌作成等のため、地域公共交通会議がコンサル
タントへ払う。

佐野委員 負担金の内容を具体的に説明してほしい。

経営企画課長 運営補助 45 万円、補助金申請に係る改善計画作成 35 万円、応援隊活
動支援 45 万、かわらばん作成 45 万円、交通ネットワーク調査研究会支
援 50 万円、市民ワークショップ支援 70 万円等である。

大島委員 最後はコンサルタントへ一括して振り込んでいる。負担金でなく委託
料とするべきでないか。

経営企画課長 地域公共交通会議と業者の契約のため委託料にはできない。

さとう委員 決算書 95 ページ 総合計画策定事業 565 万 5,373 円

市民会議は 3 月の予算特別委員会、施政方針で説明したが、なぜ実施
しなかったのか。

経営企画課長 準備の段階で 60 人のコアメンバーだけでなく、始めから多くの人がかかわり進めることが、今後に広がりが出ると考え方針転換した。手法は変えたが、市民総動員の概念を基本に取り組んでいる。平成 28 年度は準備期間とし、市民との取り組みは見送った。

さとう委員 いつ、誰が方針転換を判断したのか。

経営企画課長 夏以降に、市長はじめ内部協議で決まった。

さとう委員 総合計画策定業務委託の内容に変更はなかったか。

経営企画課長 総合計画基礎調査に影響はない。

佐野委員 委託業務の成果が生かせる方針転換か。

経営企画課長 市民総動員の基本方針は変わらず、スタートが「60 人」から「多く」になっただけである。

さとう委員 決算書 91 ページ 自治基本条例策定事業 301 万 4,431 円
自治基本条例審査会委員報酬を全額未執行とし理由は何か。

経営企画課長 有識者、団体の代表者による審議会でなく、市民団体、地縁組織、まちづくり協議会設立にかかわる人、条例づくりに携わる意識の高い人達の参画による実務型検討委員会での検討に方針変更したためである。

さとう委員 市民会議は何もしないまま夏以降に方針転換し、検討方法も変更したという。審議会ではなく検討委員会とする方針は、いつ決定したのか。

経営企画課長 夏以降に市として全体を協議して決めた。

さとう委員 自治基本条例は市民、議会、行政の役割を決めるものである。その 3 分の 1 の当事者である議会と調整がないまま進めた理由は何か。

経営企画課長 議会との協議は、条例の形をある程度整えてからと考えていた。自治 KEN の骨子案の段階では条文になっておらず、条文化した段階で調整したいと考えていた。

さとう委員 パブリックコメント予定の 9 日前に初めて見た素案には、総合計画の議決、住民投票の規定もある。平成 28 年度の作業は、やり直しが必要ではないか。

経営企画課長 総合計画の議決、住民投票の規定については、相談という方法があったかもしれないが、地方自治法の住民自治に基づいて基本的なことを規定することを考えている。総合計画の策定は自治基本条例に位置付けが必要と考えている。相談時期が遅れたことは反省すべきだが、平成 28 年度の取組みはいかしたい。

佐野委員 全体の進め方のマネジメントができなかったと思うが、物理的に無理があったのではないか。

副市長 当初は審議会設置の予定だった、自治 KEN という市民組織の熟度が上がった。自治基本条例は団体自治でなく、住民自治の精神を盛り込む。市民が市の施策枠、市役所や議会はこうあるべきだと決めてもらうものと思うし、最近の傾向である。市民が活動するうえで必要な市役所との関係を重点的に議論し、それを盛り込むことに時間がかかったので、そ

こに至りあえて審議会を設置する必要はないと判断した。当初から議会の交えて議論することは考えてなかった。パブリックコメント段階で議会に情報提供し、議会基本条例を超える部分は議論してもらえばいいと考えていた。

佐野委員 予算特別委員会で説明し、議会の議決後の方針転換や未執行がいくつもある。執行部は議会が認めた予算を執行し、それをチェックするのが議会である。

さとう委員 決算書 91 ページ 幸せのモノサシづくり事業 271 万 9,164 円
平成 28 年度で事業が完了したが、かかわった職員、市民の実人数は
何人か。幸せのモノサシはどう使い、どう評価するのか。

経営企画課長 平成 28 年度は延べ 89 人が参加した。幸せのモノサシを形にする段階では限定的な参加になったが、常時 10 人程度だった。幸せのモノサシは目標であり、総合計画策定過程で関連性をつけたい。また、5 年ごとの市民意識調査で経年変化を見ていきたい。市民活動においては幸せのモノサシを理解してもらおうよう周知したい。

川合委員 結果的に幸せのモノサシとは何なのか。幸せのモノサシを作ったことは何の意味もなく、壮大な無駄ではないか。

副市長 無駄にしたくないと思っている。自治体としての満足度が上がっても自殺や高齢者の徘徊等は今の精度では歯が立たず、かい離していく。市民のかかわり方を行政に組み付け、他人事を我が事として行動するように市民や職員の感覚や意識を変えていかなければならない。この幸せのモノサシは、よそにはない長久手だけのものである。行政は役所の中のチェック事項として、市民がものの考え方を考えるきっかけとして使う 2 つの視点がある。使い方、具体的な指標は今後広めていきたい。

大島委員 行政が市民の考え方をえさせるのは傲慢である。計画策定にかかわるのはほとんど同じ人であるが、市民の声を聞いたと言えるのか。総合計画は委託料 500 万円でコンサルタントが作っているように感じるが違うか。

経営企画課長 市が議論したことをコンサルタントに伝え、その資料を作成する。コンサルタントは、職員と市民と一緒に形にするための支援をする。

さとう委員 決算書 93 ページ 愛知高速交通株式会社出資金 4 億 1,700 万円
リニモ支援は平成 26 年度までに 62 億円支出した。平成 28 年度で支援が終了するが、平成 28 年度の収支はどのようなか。

経営企画課長 当期純利益 8,300 万円の会社設立以来の黒字となった。

委員長 他になれば、経営企画課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午後 0 時 13 分休憩

午後 1 時 20 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

人事課

人事課長 人事課の決算について説明

大島委員 決算書 87 ページ 職員採用試験業務委託 25 万 2,234 円

採用者 40 人の内、社会人採用は何人だったか。

人事課長 社会人対象の採用試験は、技師、保健師等の有資格者で民間企業で 4 年以上の勤務経験を条件に実施した。平成 28 年度は土木技師 1 人を採用した。

吉田委員 決算書 87 ページ 職員健康診断事業 1,086 万 1,388 円

長期の病気休暇の職員は何人いたか。ストレスチェックの結果はどのようだったか。

人事課長 90 日以上病気休暇は 3 人いた。ストレスチェックは強制ではなく、591 人中 550 人が受け、ストレスが高いという判定は 49 人、約 9 パーセントだった。

吉田委員 49 人へのケアはどのようか。

人事課長 臨床心理士の補足面接と結果により 13 人が医師の面接指導が必要とされ、産業医の受診勧奨をした 4 人の内希望者 3 人が受診した。

大島委員 35 歳以下の職員の健康診断受診率はどれだけか。

人事課長 正規職員はよほどの理由がない限り 100 パーセント受診している。健康診断は嘱託員、社会保険加入の臨時的任用職員も対象になり、ほぼ 100 パーセントの受診である。また、健康診断の結果を産業医に相談する機会を年 5、6 回設けている。

岡崎委員 決算書 89 ページ 職員研修事業 577 万 3,285 円

主要事業の成果には、接遇研修 1 回実施とあるが、どのような研修を実施したのか。部署によって対応に差があるようだが、市民サービスをしっかりやってほしい。

人事課長 3 月に部下、後輩を指導する立場の職員を対象に接遇マニュアルに沿った指導方法を研修した。

さとう委員 決算書 87 ページ 人事評価分析業務委託 29 万 7,000 円

委託内容と目的は何か。

人事課長 集計結果に所属、役職で評価に偏りがいないか第三者の目で分析するための委託である。

さとう委員 時間外勤務はどの部署が多く、要因は何か。

人事課長 時間外勤務はみどりの推進課、人事課、行政課、生涯学習課、土木課

の順に多く、業務量の増加も一因ではあるがいろいろな要因が考えられるので一概には言えない。

委員長 他になければ、人事課の質疑及び意見は以上で終了する。

情報課

- 情報課長 情報課の決算について説明
- 大島委員 決算書 101 ページ 二要素認証システム物品購入費 220 万 3,200 円
二要素認証システムとは何か。
- 情報課長 マイナンバー制度の運用が始まり、住民情報システムとインターネット回線を分離してセキュリティを強化した。住民情報システムは指紋認証を追加して一層のセキュリティ強化を図った。
- さとう委員 指紋は個人情報にもなるが、ほとんどの職員が指紋を登録するのか。
- 情報課長 これまでの I D とパスワードの認証に 2 つ目として指紋認証を追加した。住民基本情報を扱う課の職員が対象になり、全職員ではない。
- 課長補佐 指紋情報は凹凸等を機械的読み取るもので、犯罪等で警察が求める指紋情報のレベルではなく、収集するものでもない。
- 山田委員 決算書 103 ページ ケーブルテレビ番組制作事業 2,234 万 2,752 円
視聴率はどの程度か。
- 情報課長 W e e k l y ながくては放映回数や市ホームページからの視聴等により、視聴率として示すのは難しい。ケーブルテレビの接続率としては平成 29 年 3 月現在、1 万 3,542 世帯、約 60 パーセントである。
- 岡崎委員 決算書 101 ページ 広報紙発行事業 2,177 万 9,518 円
広報は毎月約 2 万 7,000 部発行しているが、残部を活用して医療機関の待合室やコンビニエンスストアにフリーペーパーとして置くことを考えないか。
- 情報課長 平成 30 年からの配布を視野に 5 月 26 日から 7 月 10 日まで事業所にアンケートを実施した。今年度 11 月号から市内事業所へ配布を拡大する。
- 佐野委員 不在の集合住宅への配布について調査、検討は進んだか。
- 情報課長 広報配達員の配布情報をもとに状況を把握している。いらぬ人以外は配布を基本姿勢にしているので、平成 28 年度に調査はしていない。
- 大島委員 決算書 97 ページ ペーパーレス会議システム賃借料 60 万 8,310 円
利用実績とペーパーレスの効果はどれだけか。
- 情報課長 1 月の導入開始から 3 月までに答弁調整、連絡会議、広告審査会で延べ 7 回利用し、2,392 枚の紙の削減ができた。
- さとう委員 1 月導入となった理由は何か。
- 情報課長 ペーパーレスシステムは多数のメーカーがあり、システムの選定、入札、システム構築、機器の準備を経て 1 月導入となった。

福祉施策課

福祉施策課長 福祉施策課の決算について説明

岡崎委員 決算書 149 ページ ながくて地域スマイルポイント事業 455 万 5,367 円

ポイント還元品を 151 万 2,000 円購入した。1 人 50 ポイント、1 万円を上限に 105 人がポイントを交換したが、未交換約 45 万円分の還元品はどうしたか。

福祉施策課長 ポイント交換は 76 万 6,000 円分あり、還元品の在庫として保管している。

大島委員 対象事業の一覧や会場にのぼり旗設置等の周知や手帳を忘れた人にはポイントシールを発行する等、参加しやすい、ポイントをためやすい配慮をしないと事業効果はあがらない。

福祉施策課長 対象事業の一覧は、その都度情報を更新してホームページに掲載している。また、各事業のチラシには、地域スマイルポイントの対象であることを記載している。手帳を忘れた際のシール発行は、本人以外にシールが渡ることが検討課題である。事業開始から 1 年が経過し、1 月からは市民活動の取組みを追加した。今後、事業効果を見極めるためにも検討はしたい。

さとう委員 決算書 149 ページ 支え合いマップ策定事業 4 万 7,856 円

6 地区で活動しているが、マップを作る当初の目的と違ってないか。今の目的は何なのか。

福祉施策課長 本来は困っている人、困りごとを視覚的に見てどう助け合いができるかを考えることである。個人情報や突然の訪問に戸惑いもあり、行事や集まりに来なくなった人にアプローチするようになった。

さとう委員 決算書 147 ページ 社会福祉協議会補助事業 9,360 万 7,037 円

主要事業の成果に活動実績として見守りサポーターの養成がある。民生委員をサポートするために始まったが、活用できてないのではないか。

福祉施策課長 初級、中級、上級とあり、民生委員のサポートができるのは上級の 36 人が担えるかと思う。本人とサポーターのマッチングが必要になり、活動しているのは 36 人の内でもそれほど多くない。

委員長 他になければ、福祉施策課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午後 2 時 35 分休憩

午後 2 時 45 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

福祉課

福祉課長 福祉課の決算について説明

大島委員 決算書 165 ページ 地域生活支援事業－扶助費 5,204 万 8,812 円

主要事業の成果に「自治体の創意工夫により地域の実情に応じた柔軟な事業形態で実施する地域支援事業の主なものとして給付費を支給」とあるが、長久手市独自の事例は何かがあるか。

福祉課長 確認して報告する。

※4 「日中一時支援事業は利用可能時間を4時間、6時間、8時間の設定としニーズに応じた」と資料提出あり

さとう委員 決算書 211 ページ 生活困窮者自立相談支援事業 1,822 万 9,165 円
主要事業の成果に就労支援者 12 人とあるが、就労につながったか。また、個別訪問調査 13 件とあるが、埋もれて見つけられない人をどう支援に結び付けているか。

課長補佐 就労支援の 12 人は、ハローワークの相談につながった人数である。

福祉課長 個別訪問調査は、対象者を障害者手帳を所持する 18 歳以上の内、障がいの福祉サービス及び介護保険サービスを利用してない、避難行動要支援者未登録、高齢者実態把握の非対象者と絞り込み、条件に合致する 24 人に実施した。

課長補佐 まず、24 人に手紙を送付して状況を確認した。その内、何もサービスにつながってない 13 人を訪問調査し、5 人は関係機関と連携して継続介入が必要と判断した。

大島委員 自立相談支援事業 1,231 万 4,160 円は、どこへ委託したのか。生活保護が 4 人減少したことは、自立相談支援の成果か。

福祉課長 自立相談支援業務は長久手市社会福祉協議会に委託した。福祉事務所スタート時は、生活保護は増えていくと想定していた。ケースワーカーや相談員の細やかな対応で就労支援や健康相談員につなぎ、自立につながっている。

山田委員 就労支援は、働く場がないのか、就労意欲がないのか。

課長補佐 本人が相談に来れば意欲は高い。家族に連れられてきた場合は、就労意欲を上げることから始まる。自立相談支援事業の継続相談 295 人の状況はさまざまである。

ささせ委員 就労支援事業委託は、当初予算 252 万円に対し 0 円の決算である。実績なしとなった理由は何か。

課長補佐 この事業の対象者とするには本人同意が必要である。面接等支援の準備はしていたが、該当者がなかったため、結果として 0 円となった。

佐野委員 当初予算では何人を見込み積算したのか。
福祉課長 確認して報告する。

※4 「3,500 円×12 回×12 月×5 人=252 万円」と資料提出あり

大島委員 決算書 213 ページ 災害救助対象事業 151 万 4,430 円
要支援者の個人情報、本人同意を得て自主防災組織に提供している
か。

福祉課長 登録時に同意書を提出していただく。個人情報、氏名、住所、支援
者に知らせてほしいことの 3 点を名簿として申し出のある団体に提供
している。

山田委員 1,442 人の避難行動要支援者登録があるが、福祉避難所の備蓄は十分
か。

福祉係長 福祉避難所は、市内 4 施設と分散受入協定を結んでいる。各施設に受
け入れ可能人数分の食料を備蓄している。

岡崎委員 どこに何食備蓄しているのか。

福祉課長 福祉の家 3,220 食、愛知たいようの杜 450 食、空 270 食、ぼちぼち長
屋 30 食、だいたい村 30 食の合計 4,000 食である。

さとう委員 決算書 163 ページ 福祉有償運送ドライバー認定講習会委託 10 万
7,500 円

ドライバー認定者は何人か。福祉有償運送事業の利用実績はどのよう
か。

福祉課長 講習会は 5 人が受講した。受講者は、市内事業者に登録することを受
講条件としているので登録した。利用実績については後ほど報告する。

※4 「434 件、12 人の利用」と資料提出あり

ささせ委員 決算書 163 ページ 障がい者市役所内職業訓練委託 6 万 3,756 円
当初予算 28 万 8,000 円に対し決算 6 万 3,756 円は開きがある。希望
者がなかったのか。就労につながったのは何人か。

福祉課長 平成 28 年度は福祉部を体験の場所に提供した。延べ 28 人が体験した
が、就労の確認はとれてない。今後は、提供できる業務がないか全課に
募集をかけ広げたい。

委員長 他になければ、福祉課の質疑及び意見は以上で終了する。

長寿課

長寿課長 長寿課の決算について説明

さとう委員 決算書 155 ページ ホームヘルパー派遣事業委託 15 万 9,750 円

決算書 155 ページ デイサービス事業委託 162 万 8,120 円

平成 28 年度の利用者は何人か。また、自立の人たちをどうするか
の方向性はどのようか。

長寿課長 ホームヘルパー派遣事業は5人、デイサービス事業は8人の利用があった。ホームヘルパー派遣事業は3月末までとしたが、要支援1、2は平成29年3月から総合事業に移行した。総合事業に移行の際に8掛け、7掛けとした自治体もあるが、本市は現行相当のものだけ移行した。

さとう委員 決算書157ページ 老人憩の家管理事業177万383円
老人憩の家の稼働率はどのようなか。

長寿課長 確認して報告する。

※5 「年間利用日数最少は色金老人憩の家65日、最多は睦老人憩の家269日。7施設合計は延べ1,183日」と資料提出あり

大島委員 決算書151ページ 高齢者虐待等緊急一時保護委託59万5,080円
何人保護したのか。

課長補佐（介護保険、地域支援担当）

夫婦2人を2回保護した。

大島委員 決算書155ページ 生涯学習事業323万8,540円
どのような事業を実施したのか。

課長補佐（いきいき長寿担当）

ヨガ、エアロビクス、パソコン、英会話等を3か月で10回の講座とし、年4回開講した。

さとう委員 決算書153ページ ワンコインサービス事業補助金14万3,238円
利用件数と収入はどのようなか。

長寿課長 437回の利用があった。収入は確認して報告する。

※6 「100円作業1万8,200円、500円作業8万6,500円、1,000円作業（500円作業の延長含む）8万2,000円、合計18万6,700円」と資料提出あり

佐野委員 決算書155ページ 高齢者文化施設優待事業57万2,400円
利用実績はどのようなか。

長寿課長 名都美術館の優待は3回までとし794人、トヨタ博物館の優待は1回とし240人の利用があった。

佐野委員 1人につき4回分の予算措置であれば利用者が名都美術館4回という選択もできると思うが、ニーズ調査はしたか。

長寿課長 ニーズ調査はしてない。選択制の可否については内部検討したい。
委員長 他になければ、長寿課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午後4時11分休憩

午後4時20分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

子育て支援課

子育て支援課長

子育て支援課の決算について説明

佐野委員 決算書 181 ページ 子育てコンシェルジュ設置事業 144 万 6,634 円
子育てコンシェルジュの位置付けがわかりにくい。窓口で常駐かアウトリーチか、どちらに主軸を置くのか。

子育て支援課長

子育てコンシェルジュは嘱託員 1 人の配置であり、両方をバランスよくこなしたい。保育業務を一通り勉強し、相談のスキルが身についてきた。子育てコンシェルジュの重点をどこに置くかは検討したい。

大島委員 子育てコンシェルジュの効果はどのようなか。

子育て支援課長

保育の相談は職員が対応していたが、子育てコンシェルジュが対応する点では職員の負担は軽減した。また、外へ出向き相談できることが子育てコンシェルジュを配置した大きな効果である。保育園の利用や認可外施設の案内、一時保育の相談、利用等、保育全般の相談とニーズをつなぐことが子育てコンシェルジュの仕事である。

さとう委員 保育園、放課後児童クラブ、放課後子ども教室の待機児童のうち、年度末まで入所できなかった児童は何人か。

子育て支援課長

今、年度末の数字は手元にはないが、保育園は年度途中の申し込みがあり増加する。反対に放課後児童クラブは年度当初が最も多いが、退会者があるため減少していく。

さとう委員 決算書 201 ページ 長湫北保育園新設事業 5 億 1,723 万 4,014 円
定員増による保育士確保の不安があったがどうなったか。

子育て支援課長

嘱託の保育士は予定数に 10 人ほど足りず、臨時職員を雇用した。

さとう委員 保育園おたすけたいの拠点を造ったが、活用状況はどのようなか。

子育て支援課長

保育園おたすけたいは 60 人が 6 園で活動し、長湫北保育園のサロンも活用している。

大島委員 決算書 177 ページ ファミリーサポート事業アドバイザー賃金 307 万 1,410 円
アドバイザーは保育士資格の有無は不問か。

子育て支援課長

アドバイザーは依頼会員と援助会員のマッチングをする。有資格者を募集条件にしてないが、保育士資格のある2人を雇用した。

大島委員 決算書 177 ページ 移動式赤ちゃんの駅（備品購入）24万5,904円
利用実績はどのようなか。

課長補佐（子ども家庭担当）

福祉まつり、市民まつり、夏フェス等で利用された。

ささせ委員 決算書 183 ページ 子どもの生活・学習支援委託 28万2,960円
対象者に対して利用者が少ないが、どのように周知したか。会場が1か所のため場所によっては送迎できず、利用を断念する保護者もいるが、実施場所に課題はないか。

子育て支援課長

福祉課、教育総務課と就学援助、生活困窮、ひとり親家庭の情報を共有している。その内、小学生のいる家庭には子育て支援課が事業案内を郵送した。ひとり親家庭には児童扶養手当現況届の際に案内している。また、10月以降の開始分について補正予算を今定例会に提出している。利用できない人の声を聞きながら委託先と協議し、できることは拡充したい。

ささせ委員 ニーズ調査は検討したか。

子育て支援課長

今年度、参加者、保護者に確認したい。

大島委員 決算書 173 ページ 放課後等デイサービス費 9,594万1,458円
41の事業所は県の認可によるものだが、1回以上は訪問しているか。

子育て支援課長

市内事業所は、順次訪問している。

委員長 他になければ、子育て支援課の質疑及び意見は以上で終了する。

保険医療課

保険医療課長 保険医療課の決算について説明

さとう委員 決算書 161 ページ 母子・父子家庭医療支給事業 2,637万7,705円
母子家庭、父子家庭数はどのようなか。1人当たりの助成額は、他の医療費に比べ率、金額ともに高い理由は何か。

保険医療課長 家庭環境により時間外受診の傾向にあること、子ども医療費は中学生までが対象だが、母子・父子家庭医療費の対象は18歳までであること等が考えられる。

課長補佐 平成28年度末現在の母子家庭は291人、父子家庭は9人となり、児童は370人である。

委員長 他になければ、保険医療課の質疑及び意見は以上で終了する。

健康推進課

健康推進課長 健康推進課の決算について説明

岡崎委員 決算書 215 ページ 健康都市連合負担金 6 万 8,980 円

決算書 215 ページ 研修参加費 3 万 6,400 円

健康都市連合の大会に参加した成果は何か。

健康推進課長 市長始め職員 4 人、市民団体 4 人の 10 人が参加した。すこやかメイトは先進地の活動に影響を受け、自主的な活動が広がったと考えている。

川合委員 決算書 215 ページ 公立陶生病院組合負担金 4,587 万 5,711 円

本市の利用はどの程度か。

健康推進課長 平成 28 年度は約 1.6 パーセント、7,000 人余の利用である。

川合委員 陶生病院は長久手から遠く、救急搬送されると処置後の帰宅に困ると言われる。組合立の病院で負担金を払っているが、本市にとっての必要性を考えることが必要ではないか。

健康推進課長 陶生病院はこの地域の医療圏の病院として必要と考えている。

吉田委員 決算書 225 ページ 保健センター管理事業 1,115 万 7,867 円

保健センターには調理室があるが、利用率はどのようか。

健康推進課長 調理室は健診フロアにあり、健診時等は利用できないことも多い。貸館利用してないが、健康講座等でも利用している。

岡崎委員 決算書 219 ページ 禁煙外来治療費助成金 19 万 8,000 円

平成 28 年度の実績はどのようか。1 人 1 万円を上限の助成をするが、10 万円ほど助成金が残った。受診者の効果はどのようか。

健康推進課長 24 人に助成した。治療終了後 3 か月のアンケートでは、8 割が継続と回答している。また、7 割が利用してよかったと回答しており、成果はあると考えている。

岡崎委員 職員が健康でなければ、市民に何もできない。職員の利用は 1 人だけだったが、職員に周知できてないことをどう思っているか。

健康推進課長 職員に喫煙者がいることは承知している。市内在住職員にはこの制度の利用を知らせた。

大島委員 決算書 215 ページ 市内医師会補助金 100 万円 市内歯科医会補助金 30 万円

この補助金は、市民への医療保険制度の周知のためにいかされているか。

健康推進課長 補助金は、講演会等の事業実施に活用と聞いている。

さとう委員 決算書 215 ページ 成人保健事業 1 億 1,394 万 8,409 円

検診結果が要精密検査の場合は医療機関を受診し報告するが、報告なしの件数と個別アプローチはどのようか。

主幹 精密検査受診状況は検診の種類により異なるが、5 割から 9 割の結果報告がある。未検査の人には郵送や電話で受診勧奨している。

委員長 他になければ、健康推進課の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午後 5 時 46 分休憩

午後 6 時 00 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

委員長 長寿課から配布のとおり資料の提出があった。※5、※6

土木課

土木課長 土木課の決算について説明

大島委員 決算書 253 ページ 古戦場上空通路維持管理協定負担金 419 万 4,400 円

昨年 12 月に大型商業施設が開業し古戦場駅とつながる、負担金は 12 か月分か。年間負担額はいくら必要になるのか。

土木課長 愛知高速交通(株)へ管理委託するための 12 か月分の費用であり、毎年同じ金額が必要になる。平成 28 年度は負担金であるが、平成 29 年度からは委託料とする。

大島委員 決算書 255 ページ 路面清掃委託 435 万 4,560 円

契約は随意契約か。年 3 回の清掃はいつか。

土木課長 入札で委託業者を決定した。清掃は盆前、正月前、年度末の 3 回、昼間に実施している。

さとう委員 決算書 257 ページ 駅前広場高木植栽工事 486 万円

ケヤキ 2 本の移植に 486 万円を支出する一方で、敬老事業では敬老金のカットや長久手温泉入泉券の配布を 1 枚に減らし、486 万円の使い方に疑問を抱く。486 万円かけた成果と意義は何か。

土木課長 愛知万博を機にモリコロパークから豊田中央研究所に移植されたケヤキである。まちのコアに移植し万博理念を継承していきたい。

さとう委員 決算書 257 ページ 前熊一ノ井地内外新設道路設計委託 264 万 6,000 円

平成 28 年度の進捗状況はどのようなか。

土木課長 バイパスの概略設計をし、ルート選定をした。平成 29 年度は関係者協議を経て詳細ルートを決め、予備設計に進めたい。

大島委員 決算書 257 ページ 下川原下山 1 号線測量設計委託 99 万 9,000 円

用地買収の見通しはどのようなか。

土木課長 平成 29 年度予算も用地、物件調査の予定で、見通し前の段階である。

- さとう委員 決算書 257 ページ 交通安全施設設置事業 2,289 万 6,000 円
卯塚一丁目地内の上井堀橋と東名高速道路側道との交差点は事故が多発しているが、これ以上の対策は難しいのか。
- 土木課長 信号機の設置は現状では難しい。カラー舗装やカーブミラーの設置等できる対応はしている。側道の一方通行は同意が必要となるので可能かどうか安心安全課と検討したい。
- 委員長 他になければ、土木課の質疑及び意見は以上で終了する。

都市計画課

- 都市計画課長 都市計画課の決算について説明
- 大島委員 決算書 261 ページ 生産緑地地区標識設置工事 2 万 1,600 円
本市の生産緑地の数、面積はどのようなか。
- 都市計画課長 今回の工事は、看板設置 1 件である。生産緑地は現在 14 か所ある。500 平方メートル以上が条件のため 14 か所かける 500 平方メートル以上になると理解願いたい。
- 山田委員 決算書 271 ページ 住宅耐震事業 318 万 9,000 円
主要事業の成果に木造住宅耐震診断員派遣委託 30 棟とあり、木造住宅耐震改修費補助金は 2 棟とあるが、診断の結果、2 棟だけが強度不足だったのか。
- 都市計画課長 30 棟の内 29 棟が強度不足と診断され、その内 2 棟が改修工事をした。
- 山田委員 所有者の事情もあると思うが、そのままにしているのか。
- 都市計画課長 住宅の耐震化は、耐震診断で強度を知ることから始まる。ローラー作戦、ダイレクトメール、のぼり旗等で今年度も啓発したい。
- 委員長 他になければ、都市計画課の質疑及び意見は以上で終了する。
- 委員長 福祉課から配布のとおり資料の提出があった。※4

みどりの推進課

- みどりの推進課長
みどりの推進課の決算について説明
- 吉田委員 決算書 265 ページ 公園維持管理事業 1 億 1,565 万 8,010 円
都市公園は指定管理としているが、砂場の現状を見たことがあるか。掘り返すと層まで草が根を張り、愛護会では手に負えなくなっている。
- みどりの推進課長
利用率が低い公園は砂が締め固まったり、雑草が生え一部は利用しづらくなっていることを把握している。
- さとう委員 決算書 245 ページ 田園バレー交流施設再整備アドバイザー委託 37 万 8,000 円
アドバイザー委託とあるが、誰が、どのようなアドバイスをしたのか。

みどりの推進課長

あぐりん村の再整備について(株)吉田・織田合同地域創生研究所に委託した。委託先は伊賀の里モクモク手づくりファーム創設の実績があり、直売所の売場の使い方、ふれあい農園の活用の在り方についてアドバイスを受けた。

吉田委員 決算書 335 ページ 平成こども塾講師報償金 154 万円 平成こども塾創造スタッフ委託 210 万 8,100 円

講師、スタッフ等何人への支出か。

課長（平成こども塾担当）

講師報償金は小学校の授業の一環とする学校連携プログラム、団体と連携して実施する平成こども塾自主プログラムが対象である。

学校連携プログラムは内容により 8 人から 14 人の講師で実施した。4 人を 1 組として 1 回 1 万円とし、67 回分 141 万円を支出した。平成こども塾自主プログラムは 1 人から 6 人程度の講師で実施し、1 回につき 1 万から 1 万 5,000 円とし、16 回で 13 万円を支出した。また、委託は地域ボランティア主体のサポータープログラム、専門的にものづくりや自然観察をする専門プログラムである。サポータープログラムは年回 98 回以上の実施を条件とし、103 回で 141 万円支出した。専門プログラムは外部委託で 18 回実施し、96 万 5,000 円支出した。

大島委員 決算書 267 ページ まちづくり活動推進事業 72 万 1,644 円

どのような事業で、今後も継続するものか。

みどりの推進課長

あぐりん村や香流川緑道は、都市緑化・あいちフェアのサテライト会場だったので地域のみなさんと花かごやモニュメントの装飾を継続するために花苗や土の費用を支出した。イベント形式で参加者の作業により基本的には継続したい。

川合委員 決算書 235 ページ 有害鳥獣捕獲事業 55 万 5,674 円

イノシシ以外の捕獲はあったか。また、対策は捕獲だけか。

みどりの推進課長

ハクビシン 1 頭、アライグマ 2 頭を捕獲した。今後は田畑の周辺に網を巡らし、農作物への被害を防ぎたい。また、出没情報は安心メールで配信し、啓発のためにチラシを配布している。

さとう委員 決算書 265 ページ 都市公園指定管理料 4,997 万 1,649 円

公園の維持管理は、公園の担当業者により差があるが、市は把握しているか。桧ヶ根公園の木製ベンチは傷みが激しいが、交換はいつか。

みどりの推進課長

草刈りは年 3、4 回するが、同時期に生えるので順次作業をしても時間差が生じてしまう。ベンチについては材質等を含め、修繕か交換か検討している。

ささせ委員 公園の樹木管理や虫の駆除も指定管理の業務になるのか。

みどりの推進課長

指定管理者が樹木剪定や虫の捕殺等管理している。

佐野委員 決算書 243 ページ 長久手田園バレー事務事業 19 万 9,678 円

平成 28 年度のまちなか農園の成果はどのようなか。

主幹 収穫体験や種まき等地域の子ども達とイベントをした。

委員長 他になければ、みどりの推進課の質疑及び意見は以上で終了する。

区画整理課

区画整理課長 区画整理課の決算について説明

吉田委員 公園西駅周辺土地区画整理事業は、委託している(株)URリンケージとの関係はどうか。職員とのコミュニケーションはとれているか。

区画整理課長 (株)URリンケージに包括支援業務委託をし、特別会計から委託料を支出している。コミュニケーションをはかりながら業務にあたっている。

委員長 他になければ、区画整理課の質疑及び意見は以上で終了する。

議会事務局

議会事務局長 議会事務局の決算について説明

委員長 なければ、議会事務局の質疑及び意見は以上で終了する。

この際、暫時休憩とする。

午後 7 時 29 分休憩

午後 7 時 50 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

この際、暫時休憩とする。

午後 7 時 50 分休憩

午後 8 時 15 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

この際、暫時休憩とする。

午後 8 時 15 分休憩

午後 8 時 25 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

本日はこの程度にとどめ、9月12日（火）午前10時から決算特別委員会を開く。これにて延会とする。

午後 8 時 26 分延会

9月12日（火）

午前 10 時 00 分再開

委員長 昨日に続き、認定第1号の審査をする。

この際、暫時休憩とする。

午前 10 時 00 分休憩

午前 10 時 30 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

この際、暫時休憩とする。

午前 10 時 30 分休憩

午前 10 時 45 分再開

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。

それでは討論採決を行う。

反対討論 なし

賛成討論

さとう委員 今回、決算は認めたいと思うが、次の2点に必ず気を付けてほしい。1点目、予算説明と、実績が多数異なっている。予算を通すことは、市民の代表として選ばれた議員で構成する議会にとって最も大切な仕事である。議会の議決後の方針転換や未執行は、相当の理由がない限りあってはならない。今回の審査ではやむを得ない事情でなく、場当たりのな変更が多いと感じた。2点目、中央図書館では毎年2,000万円の本を買っていたが、平成28年度は防犯カメラに200万円、南側駐車場の舗装に330万円流用し、購入費の3割カットは住民サービスの低下であり、図書館の本はそれほど重要ではないという市の姿勢は改めるべきである。平成30年度予算ではこのようなことがなく、きちんと予算を作り、議会に説明することを要望する。

反対討論 なし

賛成討論 なし

委員長 他に討論はないか。

川合委員 (発言請求)

委員長 (発言許可)

川合委員 認定第1号平成28年度長久手市一般会計決算認定に対する附帯決議案を提出する。

<附帯決議案配布>

委員長 ただ今、川合委員から認定第1号に対する附帯決議案が提出された。討論は他にないので終結し、採決する。

まず、認定第1号平成28年度長久手市一般会計決算認定について原

案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求める。

委員長 挙手全員。

よって認定第1号は原案のとおり可決することに決した。

先ほど川合委員から提出された認定第1号に対する附帯決議案を配布したので提案者の説明を求める。

川合委員 平成28年度予算審議において議会として真剣に審査をし、市民の手目の事業、施策が予算計画のもと確実に執行されることを信じて可決したのであるが、決算特別委員会での質問に対する答弁のあきらかな準備不足等、議会軽視と言わざるを得ない。このようなことでは、長久手市政は市民の信頼を得ることができない。よって、市議会として以下のことを要求する。

- 1 平成30年度予算の編成はより慎重に行うこと。
- 2 平成29年度予算の執行状況を今一度精査すること。
- 3 承認した予算に変更がある場合、速やかに議会に報告すること。

委員長 認定第1号平成28年度長久手市一般会計決算認定に対する附帯決議案のとおり附帯決議を付すべきことに賛成の議員の挙手を求める。

挙手多数。よって附帯決議を付すべきと決した。

認定第1号については、附帯決議を付すべきと決したことを審査結果に付して議長へ報告する。

委員長 報告書については、正副委員長への一任を確認。
(異議なし)

午前10時52分閉会

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

平成29年9月12日

決算特別委員会委員長 佐野尚人